

## 大学附属図書館における貸出履歴の分析

著者	松野 渉, 本田 咲美, 池内 有為, 佐藤 翔, 逸村 裕
内容記述	2012年日本図書館情報学会春季研究集会. 三重大学, 2012-05-12
発行年	2012
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/117045">http://hdl.handle.net/2241/117045</a>

# 大学附属図書館における 貸出履歴の分析

筑波大学大学院  
図書館情報メディア研究科  
松野渉  
wataru@slis.tsukuba.ac.jp

共同研究  
本田咲美, 池内有為, 佐藤翔, 逸村裕

# 発表内容

1.研究背景と研究目的

2.研究方法

3.調査結果

4.調査結果のまとめと考察

# 発表内容

## 1.研究背景と研究目的

## 2.研究方法

## 3.調査結果

## 4.調査結果のまとめと考察

# 1.研究背景と研究目的

## 研究背景

大学図書館における蔵書の貸出

一部の図書に集中している

# 1.研究背景と研究目的

## 研究背景

### 図書の貸出の集中

- Pittsburgh大学Hillman図書館  
Kent et al.による調査(1979)
- 上智大学図書館  
原田らによる調査(1989)

80%の貸出を20%の蔵書で満たしている  
⇒”80/20の法則”

# 1.研究背景と研究目的

## 研究背景

### 図書の貸出の集中

- Ohio LINK  
OCLCによる調査(2011)

80%の貸出を6%の蔵書で満たしている

“80/20の法則”は崩れ  
より少数の図書に貸出が  
集中するようになっている？



# 1.研究背景と研究目的

## 研究背景

図書の貸出が一部に集中する理由

- 特定の主題分野に貸出が集中している？
- 新しい図書が優先的に貸出されている？

# 1.研究背景と研究目的

## 先行研究

### 特定分野への貸出の集中

- 奈良大学図書館  
松井らによる調査(2006)

いくつかの主題分野の蔵書回転率が高い

# 1.研究背景と研究目的

## 先行研究

### 新しい図書への貸出の集中

- 東京大学総合図書館  
星野らによる調査(2008)

出版年の経過に従って蔵書回転率は低下

# 1.研究背景と研究目的

## 研究目的

- 現在の大学図書館における貸出の偏り状況を明らかに
- 仮に貸出が、従来の調査よりも偏っていた場合、その理由について、分野別・出版年別貸出集中状況、貸出上位タイトルなどを基に考察

# 発表内容

1.研究背景と研究目的

2.研究方法

3.調査結果

4.調査結果のまとめと考察

## 2.研究方法

### 分析対象

- T大学図書館の2006年4月から2011年3月までの貸出データ
- 学部生、大学院生、研究生、科目等履修生の一般貸出のデータ

年度別対象としたデータ数

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
4月	21,379	22,503	23,496	25,679	23,336
5月	32,071	35,000	34,409	31,946	31,149
6月	37,404	37,742	39,956	40,263	36,209
7月	16,059	16,427	17,469	17,722	15,055
8月	9,703	9,223	9,545	10,031	10,193
9月	32,675	31,318	34,301	34,801	31,438
10月	32,355	33,376	32,283	31,685	30,649
11月	35,646	35,411	32,874	36,470	34,118
12月	29,332	29,456	29,322	29,807	27,749
1月	29,496	31,396	28,980	30,388	29,192
2月	26,656	26,352	26,669	26,079	24,101
3月	15,649	15,269	16,301	16,510	8,811
計	318,425	323,473	325,605	331,381	302,000

## 2.研究方法

### 調査

- 貸出全体の集中状況
- 分野別貸出状況
- 出版年別貸出状況
- 貸出上位タイトル

上記四つの観点から貸出の集中状況について調査・分析を行う

## 2.研究方法

### T大学図書館について

2010年度蔵書冊数

和書	1,537,891
洋書	1,010,514
合計	2,548,405

2010年度奉仕対象者数

学部生	10,026
大学院生	6,657
学生総数	16,683

2009年度学生あたり貸出冊数

T大学	19.5
全国平均	8.6



## 2.研究方法

### T大学図書館について

2010年度蔵書冊数

和書	1,537,891
洋書	1,010,514
合計	2,548,405

2010年度奉仕対象者数

学部生	10,026
大学院生	6,657
学生総数	16,683

2009年度学生あたり貸出冊数

T大学	19.5
全国平均	8.6

# 発表内容

1.研究背景と研究目的

2.研究方法

3.調査結果

4.調査結果のまとめと考察

### 3.調査結果

#### 貸出全体の状況

順位	貸出 回数	累積貸出 回数	累積貸出回数 の割合
1	25	25	0.008%
2	22	47	0.016%
3	21	68	0.023%
8	18	164	0.054%
		～	
41899	2	241,599	80.000%
		～	
66733	1	271,799	90.000%
		～	
66733	1	302,000	100.000%

#### 2010年度累積貸出回数

### 3.調査結果

#### 貸出全体の状況

順位	貸出回数	累積貸出回数	累積貸出回数の割合
1	25	25	0.008%
2	22	47	0.016%
3	21	68	0.023%
8	18	164	0.054%
		～	
41899	2	241,599	80.000%
		～	
66733	1	271,799	90.000%
		～	
66733	1	302,000	100.000%

#### 2010年度累積貸出回数

- 貸出の80%を満たす  
－ 順位:41899位

累積冊数64,391冊の時  
=貸出可能な蔵書数  
(2,522,585冊)の2.6%

### 3.調査結果

#### 貸出全体の状況

順位	貸出回数	累積貸出回数	累積貸出回数の割合
1	25	25	0.008%
2	22	47	0.016%
3	21	68	0.023%
8	18	164	0.054%
		～	
41899	2	241,599	80.000%

#### 2010年度累積貸出回数

- 貸出の80%を満たす  
－ 順位:41899位

累積冊数64,391冊の時  
=貸出可能な蔵書数  
(2,522,585冊)の2.6%

3%前後の蔵書で全体の貸出の  
80%を満たしている

# 3.調査結果

## 分野別貸出の状況

類目	蔵書冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
0類	244,464	5,258	2.2%
1類	151,743	4,337	2.9%
2類	181,579	4,683	2.6%
3類	539,086	17,271	3.2%
4類	423,321	13,519	3.2%
5類	111,688	5,044	4.5%
6類	64,119	2,289	3.6%
7類	129,582	5,950	4.6%
8類	90,492	3,275	3.6%
9類	156,057	3,931	2.5%

2010年度

各類目の貸出80%を満たす  
冊数とその割合

# 3.調査結果

## 分野別貸出の状況

類目	蔵書冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
0類	244,464	5,258	2.2%
1類	151,743	4,337	2.9%
2類	181,579	4,683	2.6%
3類	539,086	17,271	3.2%
4類	423,321	13,519	3.2%
5類	111,688	5,044	4.5%
6類	64,119	2,289	3.6%
7類	129,582	5,950	4.6%
8類	90,492	3,275	3.6%
9類	156,057	3,931	2.5%

2010年度

各類目の貸出80%を満たす  
冊数とその割合

約2%～5%の蔵書で  
全類目が貸出を充足

### 3.調査結果

#### 分野別貸出の状況

類目	蔵書冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
0類	244,464	5,258	2.2%
1類	151,743	4,337	2.9%
2類	181,579	4,683	2.6%
3類	539,086	17,271	3.2%
4類	423,321	13,519	3.2%

2010年度

各類目の貸出80%を満たす  
冊数とその割合

約2%～5%の蔵書で  
全類目が貸出を充足

蔵書全体における貸出の集中は  
特定の主題分野への貸出集中が原因ではない

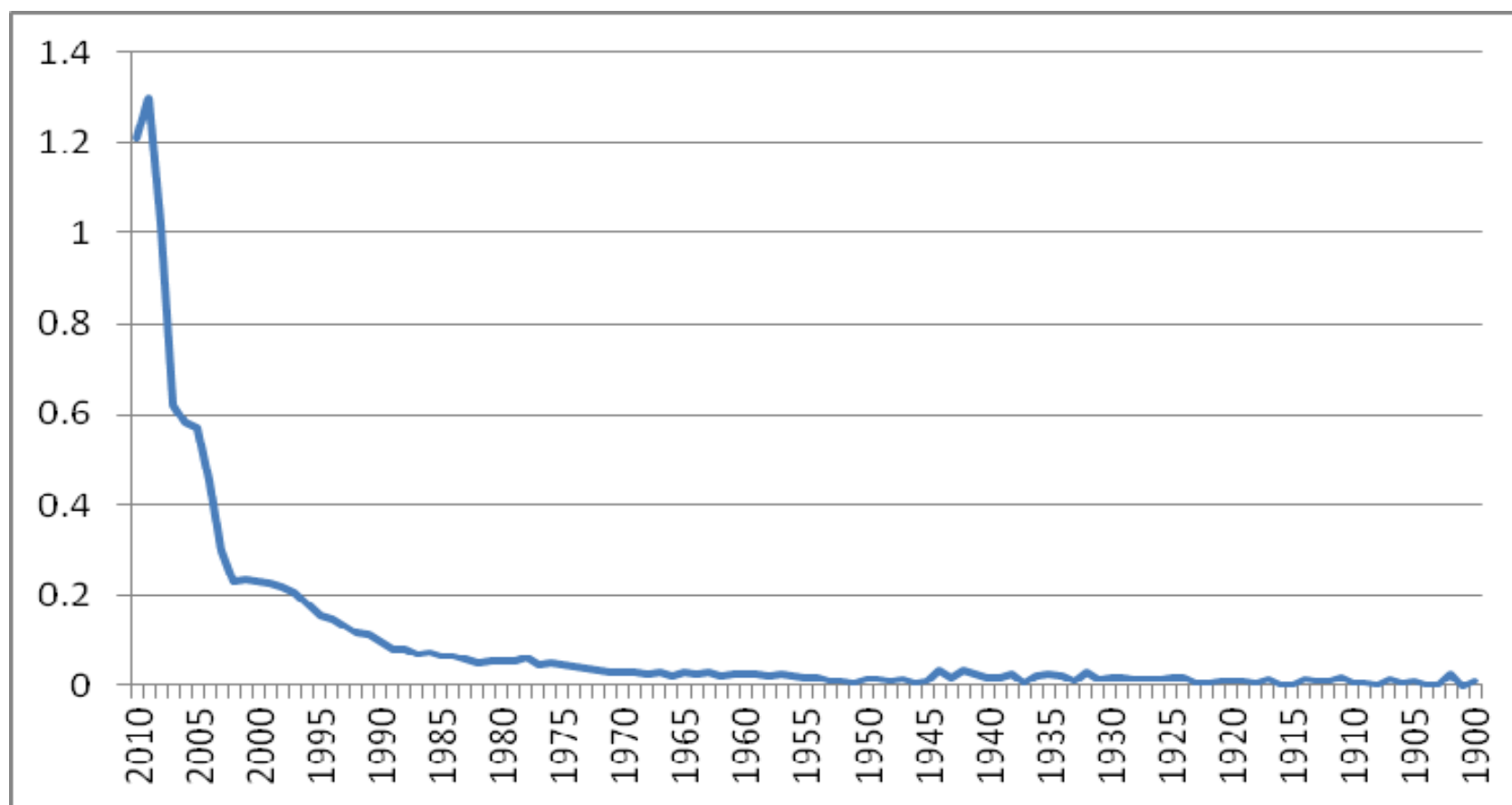
9類	156,057	3,931	2.5%
----	---------	-------	------



### 3.調査結果

#### 出版年別貸出の状況

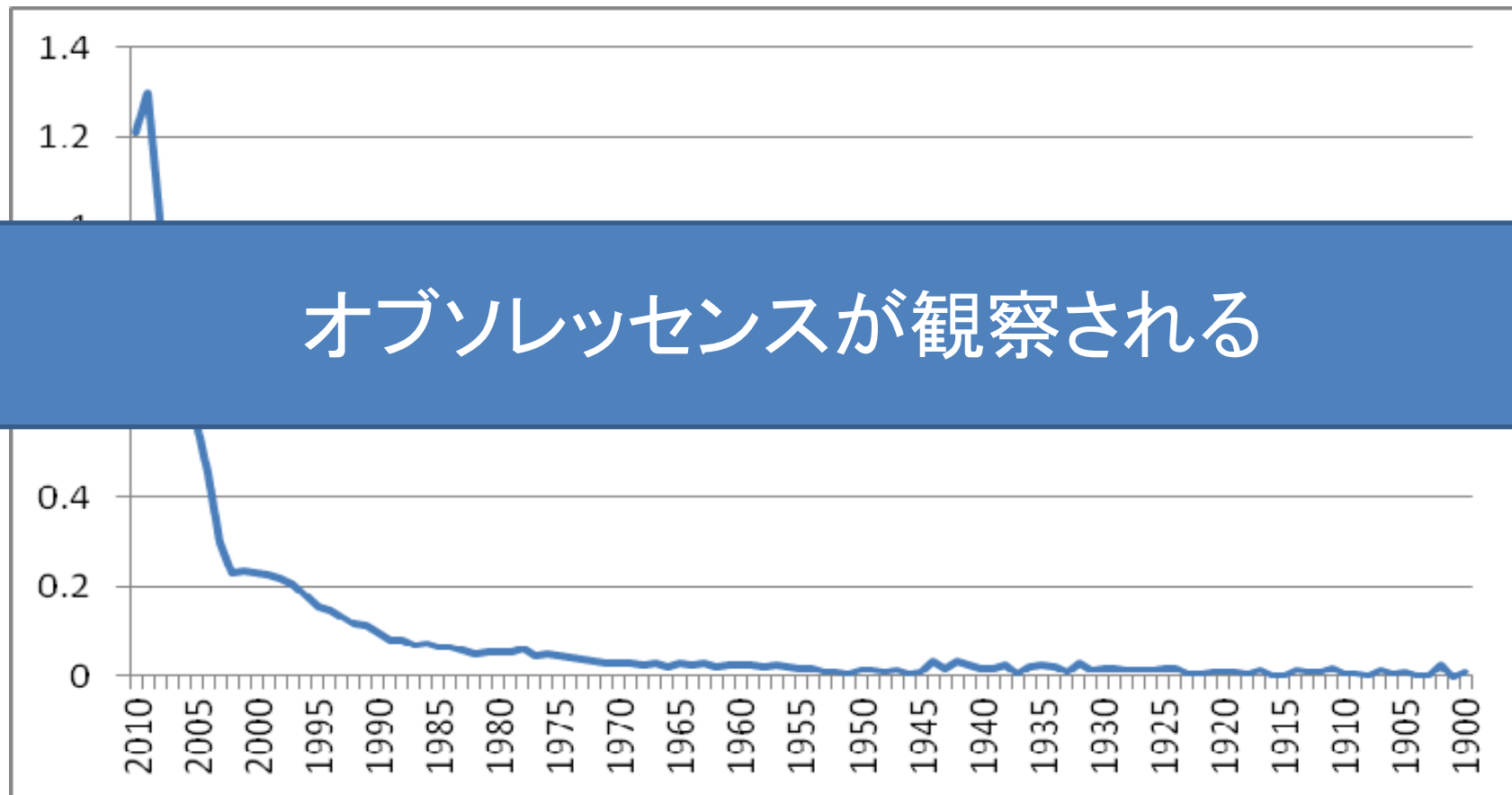
#### 2010年度出版年別蔵書回転率



### 3.調査結果

#### 出版年別貸出の状況

#### 2010年度出版年別蔵書回転率



### 3.調査結果

#### 出版年別貸出の状況

出版年	蔵書冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
2010	3,082	702	22.8%
2009	11,943	2,501	20.9%
2008	13,948	2,439	17.5%
2007	20,731	2,317	11.2%
2006	22,038	2,636	12.0%
2005	20,181	2,415	12.0%
2004	20,167	2,119	10.5%
2003	36,250	2,464	6.8%
2002	41,257	2,188	5.3%
2001	39,939	2,176	5.4%
2000	38,198	2,147	5.6%
～			
1990	45,406	1,403	3.1%
1980	62,208	1,231	2.0%
1970	53,267	435	0.8%
1960	24,234	141	0.6%

各出版年の貸出80%を  
満たす冊数とその割合

### 3.調査結果

#### 出版年別貸出の状況

出版年	蔵書冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
2010	3,082	702	22.8%
2009	11,943	2,501	20.9%
2008	13,948	2,439	17.5%
2007	20,731	2,317	11.2%
2006	22,038	2,636	12.0%
2005	20,181	2,415	12.0%
2004	20,167	2,119	10.5%
2003	36,250	2,464	6.8%
2002	41,257	2,188	5.3%
2001	39,939	2,176	5.4%
2000	38,198	2,147	5.6%
～			
1990	45,406	1,403	3.1%
1980	62,208	1,231	2.0%
1970	53,267	435	0.8%
1960	24,234	141	0.6%

各出版年の貸出80%を  
満たす冊数とその割合

出版直後は蔵書20%前後で  
貸出80%を充足している

### 3.調査結果

#### 出版年別貸出の状況

出版年	蔵書冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
2010	3,082	702	22.8%
2009	11,943	2,501	20.9%
2008	13,948	2,439	17.5%
2007	20,731	2,317	11.2%
2006	22,038	2,636	12.0%
2005	20,181	2,415	12.0%
2004	20,167	2,119	10.5%
2003	36,250	2,464	6.8%
2002	41,257	2,188	5.3%
2001	39,939	2,176	5.4%
2000	38,198	2,147	5.6%
～			
1990	45,406	1,403	3.1%
1980	62,208	1,231	2.0%
1970	53,267	435	0.8%
1960	24,234	141	0.6%

各出版年の貸出80%を  
満たす冊数とその割合

出版直後は蔵書20%前後で  
貸出80%を充足している

その後6-7年程度で5%程度  
まで蔵書の割合が低下

### 3.調査結果

#### 出版年別貸出の状況

出版年	蔵書冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
2010	3,082	702	22.8%
2009	11,943	2,501	20.9%
2008	13,948	2,439	17.5%
2007	20,731	2,317	11.2%
2006	22,038	2,636	12.0%
2005	20,181	2,415	12.0%
2004	20,167	2,119	10.5%
2003	36,250	2,464	6.8%
2002	41,257	2,188	5.3%
2001	39,939	2,176	5.4%
2000	38,198	2,147	5.6%
～			
1990	45,406	1,403	3.1%
1980	62,208	1,231	2.0%
1970	53,267	435	0.8%
1960	24,234	141	0.6%

各出版年の貸出80%を  
満たす冊数とその割合

出版直後は蔵書20%前後で  
貸出80%を充足している

その後6-7年程度で5%程度  
まで蔵書の割合が低下

出版から40年後には1%を  
下回る

### 3.調査結果

#### 受入年別貸出の状況

各受入年の貸出80%を  
満たす冊数とその割合

受入年	受入冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
2010	6,757	2,893	42.8%
2009	23,379	3,896	16.7%
2008	22,071	3,051	13.8%
2007	21,457	2,841	13.2%
2006	23,204	3,165	13.6%
2005	25,227	2,525	10.0%
2004	25,880	2,533	9.8%
2003	26,464	1,936	7.3%

### 3.調査結果

#### 受入年別貸出の状況

受入年	受入冊数	貸出80%を 満たす冊数	割合
2010	6,757	2,893	42.8%
2009	23,379	3,896	16.7%
2008	22,071	3,051	13.8%
2007	21,457	2,841	13.2%
2006	23,204	3,165	13.6%
2005	25,227	2,525	10.0%
2004	25,880	2,533	9.8%
2003	26,464	1,936	7.3%

各受入年の貸出80%を  
満たす冊数とその割合

出版年別と同程度の数値  
で推移している

出版年別と受入年別で大きな  
差異は見受けられない



### 3.調査結果 貸出上位タイトル

#### 5年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の貸出回数				
	2006	2007	2008	2009	2010
人間と社会のつながりをとらえる「対人関係・価値観」(心理測定尺度集2)	82	83	62	60	50
心の健康をはかる「適応・臨床」(心理測定尺度集3)	74	76	59	64	43
人間の内面を探る「自己・個人内過程」(心理測定尺度集1)	96	69	80	51	55
アトキンス物理化学 第6版上	45	60	47	49	54
ロビンス基礎病理学 第7版	94	58	85	64	45
アトキンス物理化学 第6版下	40	53	49	42	45

#### 4年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の順位				
	2006	2007	2008	2009	2010
細胞の分子生物学 第4版	81	77	84	66	
大学演習熱学・統計力学	64	54	43	49	
光学入門	55	45		47	45
ルベグ積分入門(数学選書4)	47	43	47		43
ヒルガードの心理学 第14版		43	53	56	57
量子力学(岩波基礎物理学シリーズ5)	54	44	65	56	

### 3.調査結果 貸出上位タイトル

#### 5年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の貸出回数				
	2006	2007	2008	2009	2010
人間と社会のつながりをとらえる 「対人関係・価値観」(心理測定尺 度集2)	82	83	62	60	50
心の健康をはかる「適応・臨床」 (心理測定尺度集3)	74	76	59	64	43
人間の内面を探る「自己・個人内 過程」(心理測定尺度集1)	96	69	80	51	55
アトキンス物理化学 第6版 上	45	60	47	49	54
ロビンス基礎病理学 第7版	94	58	85	64	45
アトキンス物理化学 第6版 下	40	53	49	42	45

### 3.調査結果 貸出上位タイトル

#### 5年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の貸出回数				
	2006	2007	2008	2009	2010
人間と社会のつながりをとらえる 「対人関係・価値観」(心理測定尺 度集2)	82	83	62	60	50
心の健康をはかる「適応・臨床」 (心理測定尺度集3)	74	76	59	64	43
人間の内面を探る「自己・個人内 過程」(心理測定尺度集1)	96	69	80	51	55
アトキンス物理化学 第6版 上	45	60	47	49	54
ロビンス基礎病理学 第7版	94	58	85	64	45
アトキンス物理化学 第6版 下	40	53	49	42	45

### 3.調査結果 貸出上位タイトル

#### 5年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の貸出回数				
	2006	2007	2008	2009	2010
人間と社会のつながりをとらえる 「対人関係・価値観」(心理測定尺 度集2)	82	83	62	60	50
心の健康をはかる「適応・臨床」 (心理測定尺度集3)	74	76	59	64	43
人間の内面を探る「自己・個人内 過程」(心理測定尺度集1)	96	69	80	51	55
アトキンス物理化学 第6版 上	45	60	47	49	54
ロビンス基礎病理学 第7版	94	58	85	64	45
アトキンス物理化学 第6版 下	40	53	49	42	45

### 3.調査結果 貸出上位タイトル

#### 4年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の貸出回数				
	2006	2007	2008	2009	2010
細胞の分子生物学 第4版	81	77	84	66	
大学演習熱学・統計力学	64	54	43	49	
光学入門	55	45		47	45
ルベーク積分入門(数学選書4)	47	43	47		43
ヒルガードの心理学 第14版		43	53	56	57
量子力学(岩波基礎物理学シリーズ5)	54	44	65	56	

### 3.調査結果 貸出上位タイトル

#### 4年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の貸出回数				
	2006	2007	2008	2009	2010
細胞の分子生物学 第4版	81	77	84	66	
大学演習熱学・統計力学	64	54	43	49	
光学入門	55	45		47	45
ルベグ積分入門(数学選書4)	47	43	47		43
ヒルガードの心理学 第14版		43	53	56	57
量子力学(岩波基礎物理学シリーズ5)	54	44	65	56	

### 3.調査結果 貸出上位タイトル

#### 4年間貸出40回以上タイトル

書名	各年度の貸出回数				
	2006	2007	2008	2009	2010
細胞の分子生物学 第4版	81	77	84	66	
大学演習熱学・統計力学	64	54	43	49	

教科書類が上位タイトルに集中

ヒルガードの心理学 第14版		43	53	56	57
量子力学(岩波基礎物理学シリーズ5)	54	44	65	56	

# 発表内容

1.研究背景と研究目的

2.研究方法

3.調査結果

4.調査結果のまとめと考察



## 4.調査結果のまとめと考察

### 貸出全体の集中状況

T大学図書館では蔵書の約3%で貸出の80%を満たす

従来の”80/20の法則”を下回り

更にOhio LINKの調査結果(80/6)も下回る

## 4.調査結果のまとめと考察

### 貸出全体の集中状況

T大学図書館では蔵書の約3%で貸出の80%を満たす

従来の”80/20の法則”を下回り

更にOhio LINKの調査結果(80/6)も下回る

T大学図書館ではより貸出の集中が進行している

## 4.調査結果のまとめと考察

- 分野別貸出状況

分野別でも、全体と同等の貸出集中が見られる

- 全体の貸出集中とほぼ同じ割合
- 貸出集中が進行している原因とは言えない

## 4.調査結果のまとめと考察

- 出版年別貸出状況

直近数年では”80/20の法則”を維持している

その後貸出80%を満たす割合は減少

数十年が経過すると1%を下回る

## 4.調査結果のまとめと考察

- 受入年別貸出状況

出版年別貸出状況と同様

- 直近数年では”80/20の法則”を維持している
- その後貸出80%を満たす割合は減少

## 4.調査結果のまとめと考察

T大学図書館では、従来の調査よりも一部の図書への貸出の偏りが進んでいる

主題分野毎の貸出の偏りは見られない

出版・受入から年数が経過した蔵書の貸出数が減少を続ける事により、蔵書数が増えるに従って蔵書全体における貸出の集中がより進行している

## 4.調査結果のまとめと考察

- 貸出上位タイトル

調査対象5年のうち、4年以上貸出回数40回以上だった図書

－ 大半が教科書として指定されている図書



教科書として指定された図書の  
貸出数が増加する可能性

## 4.調査結果のまとめと考察

- 今後の課題

T大学における継続調査

他大学における追加調査・比較



# 参考文献

- 1) Kent, Allen et al. Use of library materials: the University of Pittsburgh study. Marcel Dekker, 1979, 272p.
- 2) 原田隆史. 大学図書館貸出データの計量的分析: 上智大学図書館貸出データの分析を中心に. 彦根論叢. 1989, no.260-261, p.83-99.
- 3) Gammon, Julia; T.O' Neill, Edward. Ohi-oLink-OCLC collection and circulation analysis project 2011. OCLC Research, 2011, 73p.
- 4) 松井朗, 磯野肇. 「蔵書回転率」と「蔵書貸出率」を指標とする貸出データの分析調査: 奈良大学における図書館資料利用の傾向について. 奈良大学紀要. 2006, no.34, p.177-190.
- 5) 星野雅英, 渡邊真由美, 風巻利夫, 原香寿子. 東京大学総合図書館における入館・貸出統計データ分析の試み: 中央図書館としての役割を考える為に. 大学図書館研究. 2008, no.82, p.1-11.
- 6) 文部科学省. 平成22年度学術情報基盤実態調査. 2011, [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/kekka/k\\_detail/1307341.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/kekka/k_detail/1307341.htm), (参照2012-04-17).